

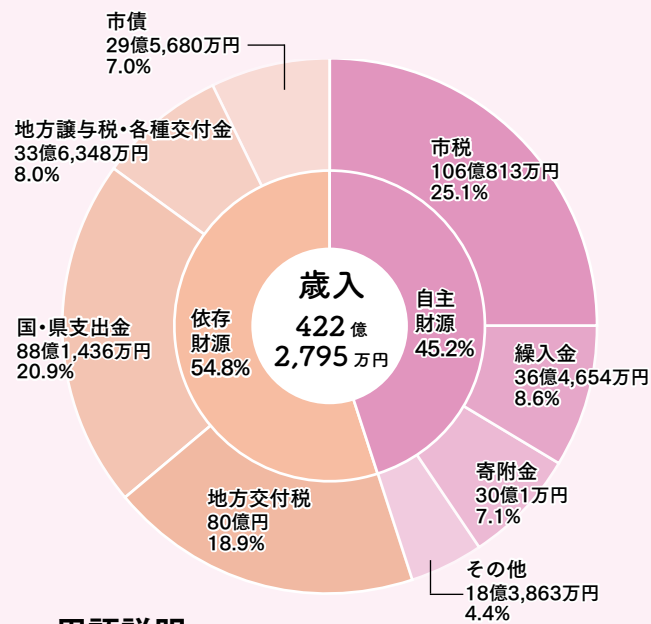
# 燕市の 一般会計当初 予算

総額 480億2,500万円  
実質的な  
予算規模 422億2,795万円

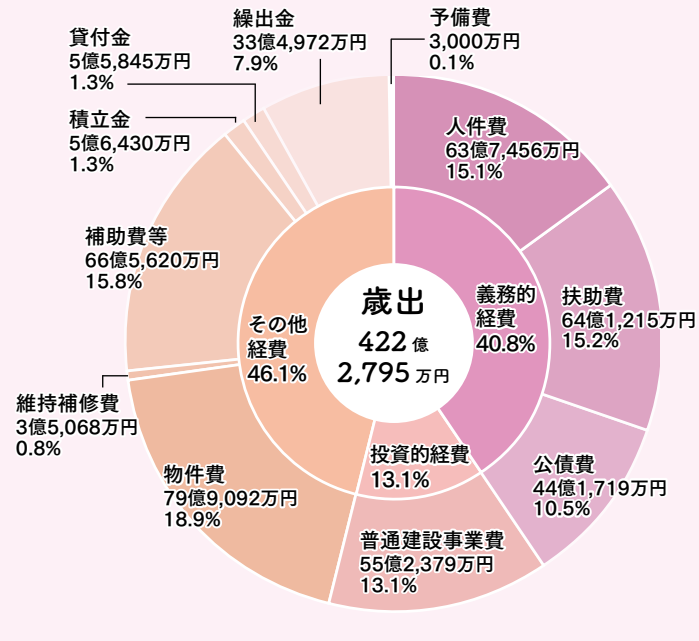
一般会計当初予算の総額は、屋内こども遊戯施設をはじめとした子育て関連施設の建設事業などに積極的に取り組むこととしたため、合併後最大となる480億2,500万円となりました。なお、借換分を除く実質的な予算規模422億2,795万円と令和5年度の国補正予算を活用した「繰越事業」を合わせた執行ベースの予算規模432億1,103万円でも合併後最大となっています。

## 実質的な予算規模

### 歳入の状況



### 歳出の状況 (性質別分類)



### 用語説明

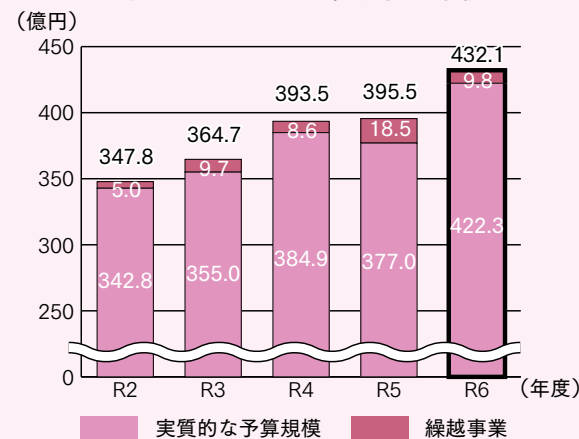
自主財源 … 市が自主的に収入できる財源  
 依存財源 … 国または県などから収入される財源  
 義務的経費 … 支出することが義務付けられている経費  
 投資的経費 … 道路や施設などの整備に要する経費  
 借換分 … すでに発行した市債を借り換えるもので、借入額と返済額を歳入歳出同額で予算計上

### 一般会計当初予算

区分	①	②	③	①-②+③	前年度比
一般会計	480億2,500万円	57億9,705万円	9億8,307万円	432億1,103万円	11.2%
①のうち借換分					5.5%
実質的な予算規模	422億2,795万円			422億2,795万円	12.0%
繰越事業			9億8,307万円	9億8,307万円	▲46.9%
執行ベースの予算規模	422億2,795万円	57億9,705万円	9億8,307万円	432億1,103万円	9.3%

端数調整のため合計額と一致しない場合があります。

### 執行ベースでの予算規模の推移



～目標の達成に向けてさらに前進する年に！～

# 令和6年度 施政方針

## ●4つのアプローチからなる 子育て施策のさらなる進化

## ●「地域社会のDX※」と 「脱炭素社会の推進」

を2大重点施策として取り組んでまいります。

3月6日、市議会定例会で市長が施政方針演説を行いました。その中から、当初予算額や重点施策などポイントを絞ってお知らせします。

元日に石川県能登半島でマグニチュード7・6の地震が発生し、石川県をはじめ新潟県内でも、数多くの方が甚大な被害に見舞われました。本市においては、人的被害こそなかったものの、住宅等に半壊や一部破損などの被害が多数出ており、防災・減災対策の強化に取り組む必要があると感じたところです。あらためまして、被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

現在は、被害を受けた市民の皆様への経済的負担の軽減と早期復旧に向け、被災住宅の修繕費や、ブロック塀、石灯籠等の撤去費などに対する助成を緊急的に実施するなど、被災者に寄り添いながら支援を続けております。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の法的措置が本格的に再開され、長かったトンネルからようやく抜け出すことができる明るい兆しが見えてきた年でした。また、市政運営の最上位計画にあたる「第3次燕市総合計画」がスタートするとともに、10本の分野別個別計画の策定を進めるなど、市として新たな一歩を踏み出す年でもありました。

一方で、エネルギー価格や原材料費の高騰の影響が長期化する中、本市においても、物価高騰により行政コストが増加しており、社会保障関連経費や公共施設の老朽化対策など従前からの財政負担の増加要因も相まって、依然として厳しい財政状況が続いております。

こうした状況のもと、国立社会保障・人口問題研究所が令和5年12月に公表した将来人口推計によると、本市の人口は、2020年の7万7,201人から、2050年には2万3,006人減少し、5万4,136人になるとされています。その減少率は、県内20市中、新潟市、長岡市に次いで少ない方から3位ではあるものの、今後急速に人口減少が進むと見込まれており、その対策は不可欠であります。

新たに迎える令和6年度は、2年目を迎える第3次燕市総合計画や、これまでに策定してきた分野別個別計画に基づき、目標の達成に向けてさらに前進する年になります。深刻さを増す人口減少に対応するとともに、地方創生や地域活性化に積極的に取り組むため、①ライフステージに合わせた支援制度の充実、②個性的で子育て目線で整備された子育て施設の充実、③事業所や地域が連携し子育てを支える仕組みの強化、④個性を伸ばし人間性を高める教育の推進という「4つのアプローチ」からなる子育て施策のさらなる進化、そして「地域社会のDX」と「脱炭素社会の推進」を重点に、引き続き「定住人口戦略」、「活動人口戦略」、「交流・応援（燕）人口戦略」の3つの人口戦略を柱に据えた各種施策に取り組む予算を編成いたしました。

施政方針の全文はこちら



※DX(デジタルトランスフォーメーション)…デジタル化により、社会や生活の形・スタイルが変わること。





## 重点施策①

# 4つのアプローチからなる 子育て施策のさらなる進化

①ライフステージに合わせた支援制度の充実、②个性的で子育て目線で整備された子育て施設の充実、③事業所や地域が連携し子育てを支える仕組みの強化、④個性を伸ばし人間性を高める教育の推進という「4つのアプローチからなる子育て施策のさらなる進化」により、「子育てするなら燕市で」と評価してもらえるよう取り組みます。

### ①ライフステージに合わせた支援制度の充実

#### 妊娠・出産

**拡** プレコンセプションケア事業  
【予算額】21万円

将来の妊娠・出産に向けた健康づくりの大切さやライフデザインを考えるきっかけづくりとしてセミナーを開催します。

- ◆中学生を対象とした食の視点からの健康管理セミナー
- ◆高校生と赤ちゃんの交流会
- ◆高校生・市内在勤の若手社会人を対象としたセミナー

**拡** 不妊・不育症治療費助成事業  
【予算額】2,150万円

先進医療による不妊治療を助成対象に加え、不育治療に対する助成率を拡充し、いずれも助成上限額を引き上げます。

- ◆不妊治療  
上限額50万円(従来) → 70万円
- ◆不育治療  
助成率1/2(従来) → 10/10  
上限額10万円(従来) → 20万円

**拡** 産後ケア事業  
【予算額】185万円

助成上限額を引き上げるとともに訪問型サービスを対象に追加します。

- ◆宿泊型サービス利用料  
上限額1万5,000円(従来) → 2万9,000円
- ◆デイサービス型サービス利用料  
上限額8,000円(従来) → 2万円
- ◆訪問型サービス(追加)  
上限額9,000円  
(双子は1万1,000円)

#### 育児

**新** 赤ちゃん紙おむつ購入費助成事業  
【予算額】451万円

乳児の紙おむつの購入費を助成します。

- ◆0歳児1人当たり1万円



**拡** おむつ用ゴミ袋配布事業  
【予算額】252万円

乳幼児の保護者へ渡しているおむつ用ゴミ袋のサイズを大きくし、総量を大幅に増量します。

- ◆計3,000L[10L×300枚](従来) → 計5,000L [20L×100枚+30L×100枚]

**新** 乳児に係る検査費助成  
【予算額】628万円

乳児の検査に係る次の費用を新たに全額助成します。

- ◆新生児聴覚検査費用
- ◆乳児1カ月健診費用

#### 就園・就学

**拡** 遠距離通学バス保護者負担の無償化  
【予算額】3,161万円

小中学校の遠距離通学に係るスクールバス運行費用の保護者負担を原則無償化します。



**拡** こどもインフルエンザ予防接種費助成事業  
【予算額】2,324万円

子どものインフルエンザ予防接種費の助成対象を拡大し、助成額も増額します。

- ◆対象:生後6カ月～小学6年生(従来) → 生後6カ月～高校3年生
- ◆助成額:1回のみ1,000円(従来) → 接種1回につき2,000円 (13歳未満までは2回接種)

**拡** 子育て世帯応援給食費補助金  
【予算額】9,731万円

園・学校における給食費(食材費)の物価高騰分を補助し、保護者負担額を据え置きます。

- ◆1人あたり1,000円程度/月



### ②个性的で子育て目線で整備された子育て施設の充実

**拡** 屋内こども遊戯施設建設事業  
【予算額】12億3,166万円

子育て環境のさらなる充実を図るため、季節や天候に関わらず、子どもたちが身体を使って思いっきり遊ぶことができる屋内型遊戯施設の建設を進め、令和7年3月の開設を目指します。

開設に向けて施設の愛称を募集します。詳しくは15ページ。



外観イメージ

**新** 児童研修館「こどもの森」リニューアル事業  
【予算額】1億2,260万円

豊かな感性を育む知育玩具などを整備するとともに、外壁や空調設備等の長寿命化工事などのリニューアルを実施します。



内観イメージ

### ③事業所や地域が連携し子育てを支える仕組みの強化

**拡** つばめ子育て応援企業サポート事業  
【予算額】1,066万円

仕事と子育ての両立に向けた市内企業の職場づくりを支援します。

- ◆つばめ子育て応援企業認定制度  
中学校・高校でのパネル展示やSNSなどで男性育休体験談の発信
- ◆男性の育児休業取得促進奨励金  
燕市に本社がある子育て応援企業においては、燕市民に限り、市外営業所などに勤務する男性従業員も対象に追加
- ◆企業訪問型男性育休啓発  
社会保険労務士による訪問予定数40社(従来) → 50社  
厚労省認定「くるみん」「ユースエール」「えるぼし」取得を働きかけ



**拡** 部活動の地域移行事業  
【予算額】1,664万円

休日の部活動の段階的な地域移行を進めます。令和6年度は対象種目と実施回数を拡大します。

- ◆対象:4種目(従来:陸上、バレーボール、バスケットボール、バドミントン) → 全てのスポーツ活動
- ◆実施回数:月1回(従来) → 月2回

**拡** コミュニティ・スクール推進事業  
【予算額】385万円

学校と地域が一体となって子どもたちを育む「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を市内全小中学校に導入します。

- ◆導入校:3校(従来) → 全19校

### ④個性を伸ばし人間性を高める教育の推進

**新** こどもが贈る「ありがとうのプレゼント」事業  
【予算額】320万円

11月第3週に「感謝を贈る日」を設け、すべての保育園・こども園の年少から年長まで約1,500人の園児が心を込めてお花や似顔絵などを家族に贈ります。

**新** つばめトランプ制作事業  
【予算額】155万円

子どもたちの郷土愛を醸成するため、絵札に燕らしさを取り入れた「つばめトランプ」を制作します。絵札のデザインは「つばめっ子かるた」の制作にも携わった黒井健さんに作画いただきます。



**新** 注目の新規事業

**保健医療体制の強化**

**带状疱疹予防接種費助成事業**  
【予算額】 1,336 万円

带状疱疹の予防接種費用を助成します。  
◆対象：50 歳以上の市民  
◆助成額：ワクチン接種費用の 1/2

**女性の健康づくり応援事業**  
【予算額】 543 万円

女性特有のがんなどの検診メニューを新設します。  
◆女性のためのトータルヘルスケア検診  
対象：40 歳 自己負担額：4,100 円（最大）  
◆プレコンセプションケア検診  
対象：20 歳、25 歳、30 歳  
自己負担額：2,600 円（最大）

**医師養成修学資金貸付制度負担金**  
【予算額】 300 万円

県と連携し、県央基幹病院などに将来勤務する令和 6 年度入学医学生へ修学資金の貸し付けを行います。

**高齢者・障がい福祉の充実**

**介護人材奨学金返還補助金**  
【予算額】 240 万円

新たに市内介護事業所で働く人を対象に、奨学金の返還相当額を補助します。  
◆補助率：10/10  
◆補助額：月額 2 万円（年間 24 万円）  
◆補助期間：最大 10 年間

**権利擁護支援担い手養成事業**  
【予算額】 300 万円

福祉経験者を対象に、成年後見人などをを目指す専門的な講座を開催し、成年後見制度などに携わる担い手を養成します。

**障がい者雇用促進事業**  
【予算額】 47 万円

就労系サービス事業所向けの就労支援スキルアップ研修会と企業向けの障がい者雇用理解促進セミナーを開催します。

**保育士の確保・定着**

**私立保育士等奨学金返還補助金**  
【予算額】 240 万円

新たに市内私立保育園などに働く人を対象に、奨学金の返還相当額を補助します。  
◆補助率：10/10  
◆補助額：月額 2 万円（年間 24 万円）  
◆補助期間：最大 10 年間

**保育士資格受験料補助金**  
【予算額】 80 万円

保育補助員の保育士資格取得を支援します。  
◆受験料などにかかった費用（上限 8 万円）

**私立保育園等途中入園受入体制支援事業**  
【予算額】 150 万円

年度途中の入園児数を見込み、基準を上回る人数の職員雇用を行う園へ補助を行います。

**私立保育園等保育士紹介手数料補助金**  
【予算額】 350 万円

人材派遣会社から職員の紹介を受けた際の手数料を補助します。

**持続可能な基盤づくり**

**文化財保護振興基金の設置**  
【予算額】 5 億円

「水道の塔」をはじめとした文化財の保存・活用などに向けた基金を設けます。

**道の駅 SORAIRO 国上駐車場整備事業**  
【予算額】 7 億 8,003 万円

道の駅 SORAIRO 国上の駐車場や将来の分水良寛史料館の移転先として事業用地を整備します。  
◆駐車台数：約 300 台分増加

**物流センターアクセス道路整備事業**  
【予算額】 6,250 万円

産業団地南側の将来的な整備を見据えたアクセス道路の設計に着手します。

今回、掲載した事業は全事業の一部分です。  
今年度も他にも多くの注目事業があります。  
詳細情報や他の事業については、ホームページでご確認ください。



● 問合せ 企画財政課 財政チーム ☎ 0256・77・8356 / 企画チーム ☎ 0256・77・8352

**重点施策②**

**「地域社会の DX」と「脱炭素社会の推進」**

市役所窓口をはじめとする地域社会の DX や官民一体となった脱炭素社会の推進により、未来につながる新たな地方創生に取り組みます。

**地域社会の DX**

**新** 「書かない」窓口システム導入事業  
【予算額】 4,600 万円

システムの導入により、転入時などの異動手続きに係る記入の負担軽減を図ります。また、証明書発行時の待ち時間の短縮につなげます。  
◆異動受付支援システムの導入  
◆マイナンバーカードを活用した「らくらく証明書発行システム」の導入  
◆RPA<sup>\*</sup>を活用した住民異動情報のシステム入力の自動化  
※定型業務を自動化するソフトウェア



**新** 手続きナビゲーションサイト構築事業  
【予算額】 417 万円

転入・転出や妊娠・出産をはじめとした各種手続きの方法、様式をまとめたサイトを構築し、来庁前の準備やスムーズな申請を支援します。



**新** つばめ子育て応援カードのデジタル化  
【予算額】 542 万円

LINE アプリとの連携により、つばめ子育て応援カードをスマホなどで提示できるようにします。

**新** GPS 除雪稼働管理システム導入事業  
【予算額】 2,120 万円

除雪機に GPS を搭載し、除雪作業の進捗情報をホームページ上で公開します。

**新** バスロケーションシステム導入事業  
【予算額】 174 万円

最寄りのバス停や時刻表、バスの運行情報などをスマホを使って確認できるようにします。

**脱炭素社会の推進**

**新** 工場等遮熱断熱促進事業  
【予算額】 4,002 万円

従業員の作業効率と満足度向上を目指して行う遮熱・断熱工事に係る費用の 1/3 を、施工面積に応じて 100 ～ 200 万円補助します。

**新** 脱炭素住宅推進事業  
【予算額】 300 万円

新潟県版雪国型 ZEH<sup>ゼッチ</sup>住宅などの取得費について県補助額の 3/10（上限 30 万円）を補助します。  
※国の基準よりも高断熱で気密性が確保された住宅

**新** 小中学校校舎照明器具 LED 化事業  
【予算額】 5,360 万円

小中学校の校舎を LED 化し、児童・生徒の学習環境の改善と施設の省エネルギー化を進めます。この事業は令和 6 年度から令和 11 年度まで計画的に実施します。

**新** 中小企業 CO2 排出量可視化促進事業  
【予算額】 594 万円

CO2 排出量を手軽に把握するためのツールを、半年間無償で提供します。

**拡** 住宅リフォーム（エコプラス）助成事業  
【予算額】 2,512 万円

新たに断熱加算枠を設け、断熱工事費の 1/2（上限 10 万円）を助成額に加算します。

